

《原 著》

## 急性心内膜下梗塞の発症を契機に確認された $^{123}\text{I}$ -BMIPP 心筋無集積と I 型 CD36 欠損の 1 例

浅野 雄二\*      石井 勝己\*      鷺内 隆雄\*      鴫田 尚樹\*\*  
青木 由紀\*      Woodhams 玲子\*      勝沼 英太\*\*      和泉 徹\*\*  
早川 和重\*

要旨 本症例は、急性心内膜下梗塞で発症した 70 歳の男性である。  $^{123}\text{I}$ -BMIPP による心筋シンチグラフィで心筋無集積を呈した。  $^{123}\text{I}$ -MIBG ならびに  $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -tetrofosmin による心筋シンチグラフィでは心尖部と中部下壁に下壁梗塞を示すトレーサの分布低下が認められたが、下壁以外の心筋集積はほぼ正常であった。  $^{123}\text{I}$ -BMIPP の心筋無集積が認められたことで CD36 の検索が行われた結果、患者は I 型 CD36 欠損と診断された。本症例も諸家の報告同様に、  $^{123}\text{I}$ -BMIPP 心筋無集積が I 型 CD36 欠損と関連することが推察された。急性心内膜下梗塞の発症を契機に確認された、  $^{123}\text{I}$ -BMIPP 心筋無集積と I 型 CD36 欠損の、比較的稀な 1 例を経験したので報告する。

(核医学 39: 29-35, 2002)